

日商簿記検定 模擬試験問題集 2級 第4版（第4版第1刷 2012年3月24日）正誤表

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2012.10.16

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
出題傾向と対策 P1	問1 3.	2. の取引を先入先出法で処理しなさい。 ※現在は、有価証券の売却原価算定において、 先入先出法は使われておりません 。←このコメントを追加		2012.10.16
出題傾向と対策 P2	問2 6.	2行目～3行目 このコンピューターの耐用年数は5年、残存価額は取得原価の10%、定額法により減価償却を行っており、～	このコンピューターの耐用年数は5年、残存価額は取得原価の10%、定額法(記帳方法 間接法)により減価償却を行っており、～	2012.10.16
出題傾向と対策 P8	第2問 傾向と対策(8)	(8) 減価償却費に関する計算問題	(8) 減価償却費に関する計算 問題	2012.10.16
解答・解法の ポイント P2	問3 (別解)4.	(別解) 4. (社債)4,840,000 (当座預金)4,925,000 (社債利息) 40,000 (社債償還損) 45,000	別解を削除	2012.10.16
解答・解法の ポイント P44	第4問 問1(1)	仕掛品 <u>120,000</u> 材料 150,000 製造間接費 30,000	仕掛品 120,000 材料 150,000 製造間接費 30,000	2012.10.16
解答・解法の ポイント P62	第1問【本問の解説】 5.	1行目～2行目 いわゆる実現主義としては、①商品の提供と ② 対価の支払い の2要件を～	いわゆる実現主義としては、①商品の提供と ② 対価の受け取り の2要件を～	2012.10.16

ISBN978-4-7810-5204-5 C1034 ¥900E